



チャレンジ90

南阿蘇村立中松小学校
学校だより
令和2年7月3日第10号
発行 校長 松本 政子

7月です。

昨日は梅雨の合間の晴天でした。

子どもたちは環境教育担当の先生に準備してもらった花苗を各学級の花壇に植えていました。今日は、雨。いいタイミングで花植えができてよかったです。梅雨明けまではもう少しといったところでしょか。まだまだ登下校が心配です。梅雨が明ける頃、大雨になることがあります。お気をつけ下さい。

学校が再開して1ヶ月が過ぎました。おうちの方には毎朝の検温、健康チェック、お世話になっております。おかげで安心して学校生活が送れています。少しずつ日常を取り戻しつつ、感染症拡大防止に務めていきたいと思ひます。

朝からの交通指導、お世話になります。いつも見守っていただきありがとうございます。

開校準備委員会

総務部会や事務部会、通学部会、教育課程部会などそれぞれの部会が行われ、統合の準備をしています。教育会の方々にも大変お世話になっております。

村からいただきました。

感染症予防のため、1人に1つ「学校机飛沫防止ガード」をいただきました。これから学習の場での活用を考えて行きたいと思ひます。



ソーシャルディスタンスに気をつけて。



手洗い場で順番を待つ子どもたち。密を避けて、上手に待つことができています。

忘れ物・・・大丈夫ですか？

どうして忘れてしまうのでしょうか。

「家の玄関に忘れてきました・・・。」

体育服や上靴などを家の玄関に忘れてきたという話をよく聞きます。準備をして玄関まで持ってきているのに、くつを履いているうちに手から離してしまって忘れてしまうようです。もったいない！

忘れ物にも種類があります。①準備の段階でそのものを忘れてしまう場合、②準備をしたのに忘れてしまう場合、③準備したつもりで入れ忘れる場合、④おうちの方に伝え忘れて準備ができなかった場合などなど。

これまでの私の担任時の経験から、おうちの方の中には、「忘れ物をして学校で困ると気をつけるようになるかも」と期待される方もおられましたが、学校ではあまり困りません。忘れたことを担任に伝えに行くときは、多少どきどきするようですが、その後は、学校にあるものを貸してもらったり、友達に貸してもらったりするのであまり困らないのです。となると、忘れ物をして困るのは自分ではなく、周りだとも言えますね。

さて、忘れることはだれにでもあります。忘れ物をするのが悪いわけでもありません。ただ、続いてしまうのは・・・。だから大事なものは忘れないように努力することです。でも努力でもどうにもならないときがあります。メモを書かせても「メモを見るのを忘れる。」と言うのです。じゃあどうするか。工夫ですね。たとえば、ランドセルのふたを開けたところにメモをはさむとか、筆箱の中にメモ（付箋など）を入れるとか、おうちの方に確認してもらう（低学年はぜひお願いしたいです。）とか。玄関先で忘れそうなら身につける（ランドセルの中に入れるとかリュックタイプにするとか）のが1番ですね。以前担任した子どもの中には、「夜と朝の2回チェックする」という子がいました。忘れ物が少ない子はそれぞれに工夫をしていることだと思いますので、それを尋ねてみるのもいいかもしれませんね。

「忘れ物に気をつけること」は、今、身につけてほしいものの1つです。今は、忘れてもなんとかなっていますが、これから忘れたら何もできない場面など出てくるかもしれません。そうなりますと学習意欲が下がることもあります。おうちの方のご協力もどうぞよろしくお願いします。